



代表取締役 社長執行役員  
山岸孝行

人工衛星ボストーク1号で人類初の無重力宇宙空間を飛行したソ連の宇宙飛行士ガガーリンは、大気圏外から見た地球の美しさに感動し、「地球は青かった」と言ったそうです。それから約半世紀近く、44年たった今、私たち人類はこの青い美しい地球を守る努力、これを真剣に行わなければならないという局面に自らを導いてしまっております。

地球環境破壊が進んでいると叫ばれているこの時代に、この美しい地球に生を受けている、個人であれ、企業であれ、環境保全は自らが行わなければならない義務の一つでもあります。

ミネベアは環境保全活動をいち早く経営の重要課題とし、企業活動によって生じる環境への負荷を最小限にすべく取り組んできております。同時に、しっかりしたビジョンを持った基本方針を掲げ、地球環境問題に取り組む組織を作り、国を問わず同じレベルでの活動を行っております。そして、環境保全活動は企業にとって未来永劫に続いていく経営課題であるという認識を強く持ち、企業活動を続けて参ります。

この環境レポートはミネベアの環境保全活動の証でもあります。今後もミネベアグループをあげて更なる推進に努めて参ります。私たちミネベアの環境保全活動について多くの方々にご理解をいただき、皆様とともに地球環境を大切にしていきたいと考えております。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2005年8月

山岸孝行

代表取締役 社長執行役員  
山岸 孝行



取締役 専務執行役員  
環境管理担当 水上龍介

愛知万博が盛況のうちに開催されています。この万博はメインテーマに「自然の叡智」を、サブテーマに「循環型社会」を掲げ、従来までの文明と国の威信をかけた開発型の万国博覧会とはその趣を異にしています。また、「循環型社会の実現と自然との共生」を前面に立て、会場の設計には生命と自然環境との関わりを問ひかける試みがなされており、深遠な道理を探る時宜を得た博覧会として各国から歓迎されています。

私たちもこの万博のテーマから逸脱することのないよう「自然との調和」を追い求め、企業の発展に全力を尽くして参りたいと考えています。

さて、今、産業界で最大の関心事は、RoHS（特定有害物質の使用制限）に代表される有害物質の問題です。有害物質を使い続けることは環境を損なうだけでなく人類の健康を阻害し、ひいてはその生活環境を脅かす事態になりかねない危険性ははらんでいます。この問題を早急に解決し、安全な製品を世に送り出すことが現代に生きる企業人の責務と考えています。

この問題に対しては、多くの企業が国籍や企業の枠を超え、お互いの知恵を出しあいながら解決の糸口を模索しています。私たちも、ミネベアの生産活動にご協力いただいているの方々を対象に各国で説明会を開催し、その持てる情報や知識を開示してきました。このように、お互いの協力の輪のなかで人類の安全が確保される社会の実現を目指すことこそが、「叡智」と呼ばれるものであらうと思ひます。

ミネベアは、自然の教えに従って環境保全活動を続けていくことを基本とし、多くの方々の信頼に応える企業でありたいと願っています。皆様の更なるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

2005年8月

水上龍介

取締役 専務執行役員  
環境管理担当  
水上 龍介